

新生涯学習施設(仮称)についての青梅市社会教育委員意見

1 新しい施設に盛り込むべき部屋等の機能は、何を盛り込むべきだと考えますか。

ホール機能を除く案に賛成である。同時に小ホール（もしくはリハーサル室）は大ホールと一緒に建設されるべきものとする。
ホールを利用する場合、大ホール・小ホールに利用は分かれるが、大ホールは小ホールに比べ、金的、使い勝手としてハードルが高い面が見込まれる。実際音楽の専門家に話を聞くと、夜に大ホールでの演奏があっても、よほどでない限り、午前中から大ホールを押さえるより、予算的に小ホールでリハーサルを重ねるケースが多いとのことである。また、リハーサル室で予行練習などを積んで、本番の大舞台に立つ流れもあり、小ホールと大ホールを兼ね備えた新市民ホールを考えると、ちなみに最初から舞台を設けず、200人弱収容のホールで、リハーサル室にも小ホールにもできるような施設が多くあるようだ。

小ホールは必要である（200～300席）
常に使用できるようなもの
多目的室を多くする（床→フローリング、弾力性のある床等）、和室も広く（仕切れるようにする）、音楽室（音響）の良い施設、トレーニング室

釜の淵市民館の現行の利用状況を考えると、演奏会や発表会ができるようなものは必要である。

地元住民が参加できるような施設を考えるならば、コンサートや演劇・ダンスなど音響、照明、観客数を備えた小さなホールが一室くらいはあった方が扱いやすく、利用しやすい。

小さな音楽会や演劇ができる小ホールは必要だと考えるが、必ずしも新生涯学習施設に作るというものでもないと思う。
ケミコン跡地に大小の2つのホールがあってもよいと思う。

ホール機能は新市民ホールのみで良いと思う。

市民から「新町の“はぐはぐ”は、近所に在住の方か、車のある家でないと行くのは難しい。駅の近くに設置してほしい」という意見を受けたことがあった。バスもあるが、本数が少ないので利用はなかなか難しいようだ。子育て支援センター的・あるいは児童館的役割を兼ね備えた施設も必要ではないかと考える。
また、大小の会議室はもちろんだが、現青梅市民センターには図書館があるため、図書館を併設すべきだと考える。

合唱練習や小規模の講演会などができる部屋があると利用者が増えると思う。
会議室等には、IT機器が使いやすい機能があるとよいと思う。

各種団体やサークルが研修、会合等に利用できる場所は必要だと思う。
釜の淵市民館については、防音の部屋があり、新緑祭や音楽系のサークルが利用できる施設となっていたことを考えると、希望として新生涯学習施設にそのような部屋を数室設けると良いと思う。

会議室のような部屋は市内の自治会館にあるので、さまざまな自主グループの活動に支援となる機能が必要と考える。例えば、音楽の練習ができる、料理ができるなど。

大きな部屋（防音施設）を1つ作れたらと思う。

防音室（音楽が可）、調理室、談話室、IT室

2 新しい施設ができた場合、利用する団体、地域においてどのような影響が出ると考えますか。

このような文化施設がなければ自主グループも育たないわけで、学習する機会、習得するための環境を提供することは地域社会の活性化につながると思う。

旧青梅町（地区）の停滞傾向を踏まえると、その活性化に向けた機能を有するものとしてほしい。交通の利便性は重要であり、駐車場の必要量確保は必須である。

利便性から、今までのセンターとしての利用者の幅がより広がるのではないかとと思われる。また、一方で、車の利用者から、駐車場の心配が出てくる可能性がある。

<p>とても重要なのは、世代を超えて交流ができるような施設と内容を盛り込むことだろう。例えば、若者たちが新生涯学習施設を中心に、地元の産業・文化と交流し、町の情報紙をつくるなどをして活性化していくこと。 また、イベント等も美術館、市役所等と連携してここから発信できること。</p>
<p>旧青梅地区の活性化、交流の場</p>
<p>新しく時代にあった文化施設ができれば、必ず多くの団体に利用されると思う。しかし商業施設ではないので、そんなに派手さはなく、施設としても小規模であり、町が賑わうほどにはならないと思う。</p>
<p>曜日、時期によっては利用希望者が多くなり、団体等から苦情がでる可能性があるのでは。駐車場の確保が十分できるか。</p>
<p>会場が取りにくくなるのではないか。</p>
<p>3 その他、新しい施設に対して、ご意見がありましたら自由にお願ひします。</p>
<p>人口減少傾向や財政の収入増加に多くを望めない現状等を踏まえると、現有施設の統合化や縮減の方向はやむを得ないと思える。複合施設の建設に際しては、利用者の意向を十分に汲み取ってやるようにしたい。</p>
<p>新生涯学習施設の複合施設化に基本的に賛成である。 永山ふれあいセンターは、イベントやサークル活動の際に、子どもを持つお母さん方や高齢者の方から、大変行きづらいという声を聞いていた。駅からやや離れているということと、坂がきついということとを考えると、現市民会館の所であれば、行きやすいと思われる。また、青梅市民センターはもともと図書館としてのみの機能だったため、比較的近いエリアに分散していた他施設との集約化は、意味のあることだと思う。 一つ懸案なのが5月の釜の淵新緑祭で、釜の淵市民館は立地的になくなくてはならない施設と言える。1983年建築ということで、この中では新しい方で、この4か所の中で最も高い稼働率の44%も考慮すると、耐震構造や劣化に問題なければ、規模を抑えても存続できる可能性があるかと考える。</p>
<p>運営するための財政面や人口減少を考えると、1か所に集約すること自体はよいと思うが、現市民会館の場所が立地場所としてふさわしいかどうか、他にいい候補地があれば一考するべきではないか。</p>
<p>施設を統合することは、施設の効率的活用、経費面での節約ができよいと思う。 地域コミュニティーの場（地域の文化祭など）として、使いやすい施設になることを期待する。</p>
<p>集約することで、利便性は向上すると思うが、青梅の自然の中にある釜の淵市民館での音楽のコンサートやイベントなど場所（環境）に合った施設も必要だと思う。</p>
<p>集約に賛成 文化・芸術・軽スポーツ等できる施設</p>
<p>複合施設として1か所へ集約することは、センターの見直しについて検討されていた中で、経費の削減の面からも良いと思う。</p>
<p>駅にも近く、むしろ便利かと思う。</p>
<p>市民センターは切り離して考えた方が良いと思う。</p>
<p>建設中、現市民会館のホール機能だけは他の3施設では賄えないが、その他においては3施設を完成まで使用し続ければ問題ないように思う。</p>
<p>現市民会館を閉鎖してから新しい施設ができるまでの間は、近隣市町村と協議し、利用を促進するようにしたい。また、既存の遊休的な施設、設備の利用を検討したい。（例、明星大学の関連施設）</p>

新しい施設ができるまでの間、現市民会館のホールがなくなってしまうという点が、一番の問題ではないかと思うが、ケミコン跡地に少しでも早く建設できないのであれば、残念ながら近隣から借りたり、総合体育館を利用する他、手立てがないかと思う。
また、現市民会館の会議室の利用であれば、以前東青梅センタービルの2階に市役所で会議室として利用していたスペースがあったので、民間施設を借りるという方法も考えられる。具体的には、一時的に旧長崎屋の空いているスペースを市が借りて会議室用の部屋として利用する、ということも選択肢の一つとしてどうか。

新しい施設ができるまでの間、練習ができなくなるので当然会員が少なくなると思う。
広い場所がなければできない団体もあると思うので、市で他の活動場所を探していただければ。

新しい施設ができるまでの間、コンサートやイベントは明星大学を使用して欲しいと思う。

新しい施設ができるまでの間は、学校施設や民間施設を活用する。

新しい施設ができるまでの間、ホール等を利用できないことは、様々な団体が困ることが予想されるので、明星大学等の大ホールを借りる等の手配を市でやるべきだと思う。

箱物を造ると建設後の維持・管理費が課題となってくる。施設利用の有料化もやむを得ないと考える。

新施設は生涯学習センターというかたちで内容を計画されるのが良いのではないか。完成後は小学校などと連携して子どもの頃から施設を利用する、通わせるなどの仕組みを作ることによって、生涯にわたって親しみを持つことができる施設になればと思う。
社会教育行政これからはもっと若い世代を巻き込んで取り組むべきだと思う。

明星大学青梅校を生涯学習センターの基地として、青梅市または青梅市と明星大学、東京都、何か利用できることを切に期待する。